

海域全体で溶存酸素量が低めです。

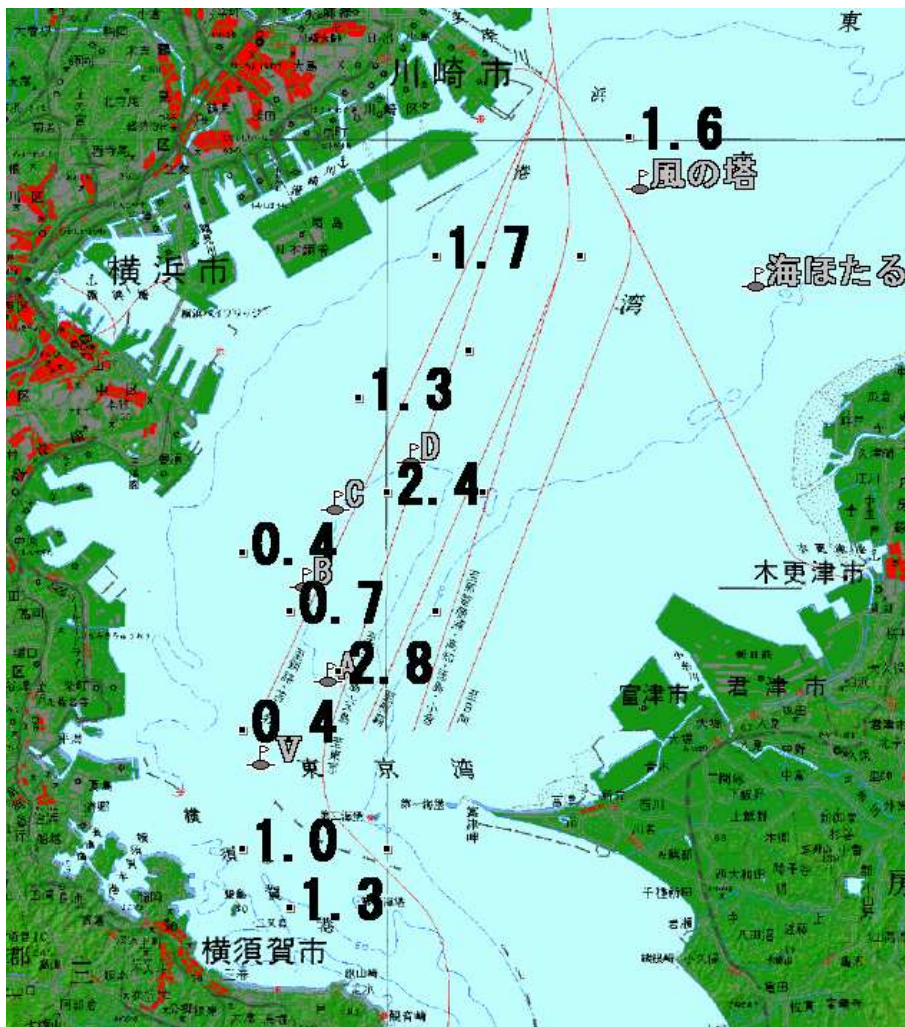
# 東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター  
2007/08/08

漁業調査船うしおにより調査を実施しました。

南西の風が強く、途中で調査を中止したため、調査点が少ないです。

- 水色は中の瀬の北では茶色がかっていますが、赤潮にはなっていません。
- 水温は、表層で 25~26℃台、底層では 18~21℃台で、3~8℃の差があります。
- 表層の塩分濃度は低めです。外洋からの高塩分水は後退しています。
- 貧酸素水塊 ( $\leq 2.5\text{ml/l}$ ) が広がっています。特に中の瀬の西部、5番ブイ~Cブイでは酸素量が極めて低くなっています。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター  
資源環境部  
電話 046(882)2313

酸素量がかなり低くなっています。  
表層と底層の水温差もあります。  
漁獲物の取り扱いにご注意下さい。